

十二支の順番



十二支にまつわる有名な言い伝えがあるのを知っていますか。
この言い伝えは地域などによって違う点があります。

ですが、・たどり着いた順であること

・ねずみは牛に乗って行き、着く直前に飛び降り一番になった
という点は共通しています。

ここでは中国に伝わる言い伝えを紹介します。

皇帝はある日動物たちに会議を開くから集まるように言いました。

そして「会議に到着した順に干支に動物の名前を付けよう」と言いました。

宮殿に向かう途中、大きな川がありました。ねずみは泳ぐことが出来ません。

そこで牛の背中に乗ろうと考え、ねずみは「道案内するから」と言って牛の背中に乗せてもらいました。ねずみは対岸に着くと牛から降りて一目散に宮殿へ。1番に到着し2番目は牛になりました。

3番目は虎です。力強く泳いで渡りました。

4番目のうさぎは跳ねながら川の小石を使いながら渡りました。

途中立ち往生してしまったうさぎは丸太に飛び移り流されそうになったうさぎを
5番目に来た龍に助けられ無事に到着しました。

その次は馬です。馬は龍の次に宮殿に到着しましたが、馬の蹄にへびが隠れており
急に足元からへびが出てきて馬はびっくりし後ろに下がりました。

そのすきにへびは宮殿に入ったのでへびが6番、馬が7番になりました。

その次にやってきたのは羊、猿、鳥です。3匹は協力し合い川を渡りました。

11番目はイヌです。イヌは泳ぎが得意ですが、つつい川遊びをしまい遅くなりました。12番
目は豚です。途中でお腹が空いて食べていたら遅くなりました。
この豚は日本で猪のことをいいます。

ネコは十二支に入ることはできませんでした。この理由にも所説はありますが、
共通しているのはねずみのせいということです。

有名なお話は「ねずみがネコにうそを教えた」というもの。

ネコがねずみに「宮殿に行くのはいつなの」ときいたところ、ねずみは違う日にちを教えました。そ
れでネコは宮殿に入れませんでした。

他にもネコは最初ねずみと牛の背中に乗っていたというお話もあります。

川を渡っているときにねずみはネコを突き落としました。

ネコは泳げずに流されてしまい宮殿には行けなかったのです。

このためネコがねずみを追いかけるようになったのは、この十
二支に入るための競争が原因だと言われています。

